



カリオン

Vol.2



2007年1月

発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 鍋山 晃
編集責任者 事務部長 山田守正
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL番号 079(294)2251(代表)

108回生 厳かに戴帽



平成18年11月8日、姫路赤十字看護専門学校第108回生37名は、赤十字マークのついた真っ白なナースキャップを戴きました。戴帽式がこの時期に行われる理由は、入学後の授業態度や姿勢から、看護師としての可能性を見極める意味があるからです。赤十字看護師を目指して入学した彼女たちは、看護のあり方を考えたり、日々の技術練習に苦戦する中で、確かな知識と技術・察すること・豊かな感性を身につけることの大切さを学んできました。

待ちに待ったこの日、かのクリミア戦争でナイチンゲールがランプを持って見回ったあの灯を受け継ぎました。キャンドルの灯に照らされながら、背筋を凜と伸ばし、ナイチンゲール誓詞を唱和している姿はとても美しく、看護学生としての自覚と誇りをより一層強く感じているようでした。

これから隣地実習・学科試験など沢山の課題に取り組んでいくこととなります。彼女達の成長を、温かく厳しい目で見守って頂きたいと思います。
(専任教師：柳原典枝)

♡♡♡♡ 後期行事予定 ♡♡♡♡

- | | | |
|------------|--|---|
| 10月 | 1日(日)クラスⅡ 紙屋克子氏の講演
15日(日)～18日(水)クラスⅡ 日本赤十字社本社訪問およびレクリエーション
17日(火)関西看護学生研究大会クラスⅠ参加 クラスⅢ1名発表 | |
| 11月 | 8日(水)クラスⅠ戴帽式
9日(木)10日(金)クラスⅡ 保育所実習 | 14日(火)戴帽を祝う会
24日(金)球技大会 |
| 12月 | 4日(月)～25日(月)平成19年度入学試験願書受付 | 23日(土)～冬季休業 |
| 1月 | 11日(木)12日(金)クラスⅢ技術演習
17日(水)18日(木)平成19年度入学試験 | 15日(月)～クラスⅢ特別講義
30日(火)31日(水)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ-2 |
| 2月 | 2日(金)平成19年度入学試験合格発表
21日(水)～クラスⅡ領域別実習開始
28日(水)卒業を祝う会 | 2日(金)～14日(水)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ-3
25日(日)第96回看護師国家試験 |
| 3月 | 2日(金)クラスⅢ卒業式
27日(火)国家試験合格発表 | 20日(火)～春季休業 |

看護の心を載せて



戴帽生からの 喜びの言葉

戴帽式を迎えて、私は自分に誇りをもって仕事ができる看護師になりたいと強く思いました。そして、ナースキャップをかぶることによって新たな期待を胸に抱いて、これからの勉強や実習に臨みたいです。



戴帽式を通し、改めて多くの人に支えられながら、今様々なことを学ぶことができていると感じました。この感謝の気持ちを忘れず、私自身も誰かの支えとなれるような看護師になれるようにこれからも学んでいきたいです。



11月8日、この日は一生忘れられない日となりました。幼い頃からの憧れだったナースキャップ。看護学生としてまた看護師としての壁にぶつかったり、投げ出したくなった時は戴帽の喜びと感動、そして初心を忘れず歩んでいきたいです。



戴帽を迎えて、さらに看護師になりたいという気持ちが強まりました。

周りの人に感謝の気持ちを忘れることなく、また、新しいスタートに出遅れないよう、自分の血となり肉となるものをしっかりと身につけ、努力していきたいです。



この学校で戴帽式を迎えることができたことを誇りに思っています。赤十字看護師になると決めた私は、今まさに駆け出したばかりです。この夢に向かってこれからも走り続けます。



ナースキャップを戴いた時、本当に私がもらっているのかと、とても不安でした。しかし今は、その不安よりも期待に満ちた気持ちでいっぱいです。これから、つまずいた時や悩んだ時は今の気持ちを思い出し、初心を忘れないようにしていきたいです。



上級生からの お祝いメッセージ



108回生の皆さん、戴帽おめでとうございます。ナースキャップを戴いた時の気持ちはいかがでしたか？私たち上級生も、戴いた時の嬉しさを昨日のこのように覚えています。そして、皆さんの姿を見て心から喜び感動しました。この戴帽式は看護師への道の新たな一歩になったことと思います。

この先、何か辛いことがあった時には、歌の歌詞にあった、

♪悲しみや苦しみの先に それぞれの光がある さあ行く
こう 振り返らず走り出せばいい 希望に満ちた空へ…♪
というフレーズを思い出し、あきらめず何事にも努力し続けていって欲しいと思います。

心優しい素敵な看護師になれるよう、私たちと共に頑張っていきましょう。
(クラスⅡ)

第108回生戴帽を祝う会 ～もり いさむ氏 コンサート開催～

11月14日に、第108回生の「戴帽を祝う会」を開催しました。この会の趣旨は、看護に限らずある分野において「この道一筋」で精進・活躍されている方との触れ合いを通して、専門職業人としてのあり方を考えたり異文化に触れたりする機会としています。今年は、詩人「金子みすゞ」の詩に曲をつけて歌われている、もりいさむさんをお迎えしました。みすゞの詩は「いのちのこと、生かされていること、見えないけれどあるということ、違うことのすばらしさ」など、大切なことにもう一度気付かせてくれます。

これから看護師を目指す学生が、ここで感じたことを心にとどめ、患者様と向き合ってくれるとうれしく思います。

(専任教師：横田裕美子)



日本赤十字社本社研修を終えて



107回生(クラスⅡ)は10月15日(日)～18日(水)の4日間、東京の日本赤十字社本社を訪問しました。2日目の研修では赤十字のしくみや活動について理解が深まり、赤十字という組織の大きさを改めて感じました。長野赤十字看護学生との交流もあって、学校紹介をしたり、互いの学校や地元の話で盛り上がりました。他の日は東京ディズニーランドやお台場、浅草、靖国神社参拝など、学生それぞれの東京を満喫しました。107回生同士の親睦も深まり、とても充実した楽しい研修旅行となりました。

(クラスⅡ)



関西看護学生看護研究大会で発表しました!!

11月17日、神戸文化ホールで行われた関西看護学生看護研究大会に参加し、「尿失禁を予防する骨盤底筋運動-自己効力理論を用いて-」というタイトルで発表しました。

患者様との関わりを数カ月間かけて振り返りながら看護を考えましたが、思いがまとまらず悩む日々もありました。それに人前に立つことが苦手な私にとっては舞台上に上がること自体が大きなチャレンジでもありました。実際、千人近くの聴講者を前にすると足も手も声も震え、心臓が飛び出してしまうほどに緊張しました。これから自分の弱さや壁にぶつかることも多いと思いますがこの貴重な経験を生かし、乗り越えていきたいです。

(クラスⅢ)



秋の球技大会開催



11月24日、秋空の下、球技大会を行いました。スポーツを通し、学年を超えた仲間作りを目的にしています。

今年は“指導者さんや先生方との関わりを深める”をテーマに、昼食時のNLT賞(NiceLunchTeam)を設け、その結果、写真のチームが高得点で優勝しました。

総合優勝は圧倒的な強さでクラスⅡでした。

球技大会実行委員も何かを残したいという気持ちで自作のトロフィーを製作しました。

球技大会を開催するにあたり多くの方に支えて頂きました。賞品を提供して下さった先生方、優勝旗・一等旗を提供して下さった看護教員養成講習の先生方、実行委員・ボランティアの皆さんありがとうございました。

(実行委員長)



日赤医学会総会



第42回日本赤十字社医学会総会が、平成18年11月16日(木)・17日(金)、紅葉の美しい京都、国立京都国際会館で開催された。この会は医師、看護師等、数多くの赤十字職員が参加している。日野

日赤医学会総会において、「聴覚障害者と医療」というテーマでポスターセッションで発表した。

聴覚障害者とのコミュニケーションの方法は、失聴の時期により筆談の有効度は違う。言語取得



原重明先生、堀田力先生の講演などが行なわれた。

看護専門学校から2名がポスターセッションの発表をし、糟谷専任教師が座長を務めた。私は「NIE準実践校の指定を受けて」のテーマで発表、聴衆との意見交換が有意義であった。

(教務主任：柳めぐみ)

「医療人の集い」



—京都蹴鞠—

以前に失聴した人にとって、母語である手話が最も望ましいコミュニケーション手段であり、「手話により症状を訴え医師の説明も自分で聞き自分で答えたい、病院には手話通訳者がいて聞こえなくても不安なく診察を受けたい」と切実に願っている。(事務係長：尾形治美)

AEDの伝達講習会を開催

平成18年11月6日(月)～11月24日(金)、日本赤十字社研修センターで「赤十字Ⅱ」の研修に参加しました。この研修は、赤十字への理解を深め、赤十字運動を広めることを目的としたもので、救急法やAEDの使用方法、災害看護、こころのケアについて学びました。

その中から、12月8日(金)に、クラスⅡを対象にAED伝達講習会を行いました。学生からは「救急法を思い出せた」「必要時AEDを使えるようにしたい」「日常から救急法ができるよう備えておきたい」等の声が聞かれ、意義のある時間となりました。

(教務助手：藤元由紀子)



兵庫県主催看護教員養成講習会教育実習



兵庫県主催看護教員養成講習会を受講中の講習生6名が、本校で教育実習(10月～11月)を行いました。この講習会は、厚生労働省が看護師等養成所の看護教員になるために定めたものです。兵庫県では2年に1回この講習会を開催し、本校では毎回教育実習生を受け容れています。学生は講習生の実習に協力して模擬授業を受講したり、生活指導を受けます。職員も初心に戻って看護教育のあり方を考える機会となっています。(副学校長：樺山たみ子)



オープンキャンパス 「姫路日赤ってどんな学校？」

そんな受験生の気持ちにお答えしたくて、今年のオープンキャンパスでは在学生主催のコーナーを設けました。ラング君で聴診の体験、実習室での技術演習の見学、血圧測定の実験、さらに、質問コーナーなどを設け、保護者の方々にも参加していただきました。

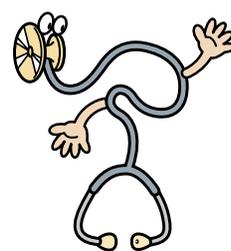
アンケートでは、「先輩方が優しく親切に教えてくれ、お話出来てうれしかったです。」「血圧計で自分の脈が聞けたときは感動しました。」など、大好評でした！多くの方に、私たちの学校を知ってもらえることが出来、さらに看護に興味を持っていただけたと思います。

(クラスII)

血圧測定の実験コーナー



聴診のコーナー



歴史シリーズ⑦

『旧姫路赤十字病院定礎』
の歴史資料を紹介していきます。



龍野町にあった旧姫路赤十字病院
本館定礎の中から出てきた「定礎の辞」
銅板です。文中「将来本院が済生救療
上一層の利便と国家社会の福祉増進と
に資する所多大ならむことを祈る。(新
かなづかいに修正)」とあり、昭和8年4
月の日付が入っています。先人の志の高
さに敬虔な思いに包まれます。

(副学校長 樺山たみ子)



最新の医療ニュース

「7:1 看護職員配置について」

大病院が看護師を募集し、中小病院で看護師が不足しているというニュースが世間を騒がせています。それは、平成18年4月診療報酬の改正があり、「7:1」の看護配置が新設されたためです。この基準を満たすことで、病院によっては億単位の増収が見込めるようです。従来の表記でいえば、患者14人に看護師1人の配置となり、一般の方にもわかりやすい表示方法になっています。医療安全の確保、看護の質の向上、看護職員の労働条件改善を目指しています。

もしも50床の一般病棟でベッド稼働率90%の場合、「7:1」と「10:1」では看護職員数は、何人違うのでしょうか？500床のA病院の場合では・・・答えは、最後のページに・・・

(教務主任：柳めぐみ)

奉仕団活動報告：献血班



～クリスマス献血キャンペーンに参加～



12月17日(日)にイトーヨーカドー広畑店で、クリスマス献血キャンペーンを行ないました。今年、「献血は誰かに届くプレゼント」というスローガンのもと、



サンタクロースの衣装や着ぐるみを着て、一生懸命呼びかけました。その結果、受付け数が過去最高の110名、そのうち89名の方が献血をして下さいました。献血者の中には、「学生の呼びかけに誘われて…」とお話される方もいて、活動の効果とやりがいを実感しました。

地域の方とふれ合う良い機会となり、楽しみながら出来たことがとても良かったと思います。
(クラスⅡ)

委員会活動報告：文化委員



～クリスマスの飾りつけで校内を鮮やかに～

12月はクリスマスシーズンです。そこで、学校生活をより楽しんでいただけるように、ツリーや絵本を持ち寄って、校内の飾り付けをしました。たくさんの学生に協力していただき今年は特に華やかです。エントランスのツリーのオーナメントは手作りですよ。ツリーのライトアップも綺麗で、道行く人にも楽しんでもらっています。

(クラスⅡ)





サークル「なでしこ」活動紹介

お茶会やエッグアートを楽しんでいます。



"お茶を楽しむ"をコンセプトに活動しています。

なでしこは、平野さん、樺山副学校長、松井先生の指導の下、様々な活動を行っています。

10月にはお茶会、11月・12月にはエッグアートを楽しみました。私達が教えていただいているエッグアートは、安価な鶏の卵を使用し、テックというペースト状のものを雪に見立てて塗っていき、様々な小物で飾りを付けていくものです。安価で、楽しく気軽に作れるので、季節ごとの飾りとして、空間を華やかに演出してくれます。

(クラスⅡ)



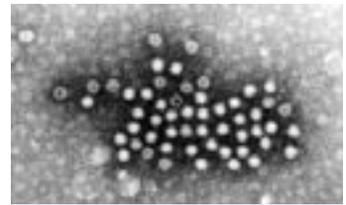
エッグアートのクリスマス飾り付けにも



健康講座「ノロウイルス」



ノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が、全国で猛威を振るっています。症状は下痢や嘔吐、腹痛などで、特に冬季に流行します。生カキなど加熱が不十分な二枚貝が原因で感染するほか、患者の便や吐物を介して二次感染します。乾燥すると容易に空中に漂い、口に入り感染することがあります。乾燥しないうちに処理し、換気、十分な手洗いを行ないましょう。ワクチンがなく、対症療法しかありません。抵抗力が低い乳幼児や高齢者は特に注意が必要です。



ノロウイルスの電子顕微鏡写真

(教務主任：柳めぐみ)



季節の花々



氷ノ山・後山・那岐山 国定公園の一角を占める阿瀬溪谷は、金山峠（標高760m）を源とする阿瀬川の最上流で、大小さまざまな滝があり、「阿瀬48滝」と呼ばれています。「源太夫滝」は、落差30m。白い瀑布がいく筋にも分かれて岩肌を落ち、燃えるように染まる紅葉と水音が幽境へと誘います。
(11月19日撮影：糟谷緑)



阿瀬溪谷（源太夫滝）

編集後記

学校便り「カリオン」2号を発行することが出来ました。ご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

今号は、内容が盛り沢山となりましたが、皆様に、学校の様子を出来るだけ具体的にお伝えできればと思い編集しました。ご意見・ご感想をお待ちしております。

先日、冬枯れの中庭の木に小さな蕾を見つけました。木も酷寒の季節を乗り越えて春に花を咲かせます。輝かしい春が待ち遠しいですね。

(専任教師：糟谷緑)

カリオン編集委員

樺山たみ子 柳めぐみ
糟谷緑 竹重郁江
田畑淑子



答え

「7：1」の場合は、 $50 \times 0.9 \div 1.4 = 32.1$ 33人
「10：1」の場合は、 $50 \times 0.9 \div 2 = 22.5$ 23人
争奪戦が起きる訳ですね。

$500 \times 0.9 \div 1.4 = 321.4$ 322人
 $500 \times 0.9 \div 2 = 225$ 225人

